



# 第34回 経営トップ・セミナー開催

～全国の港から経営首脳210名余が参加・盛会裡に開催される～

日 時：令和2年2月13日（木）

場 所：ペイサイドホテル アジュール竹芝

一方、企業の社会的責任や労働者に対する安全配慮義務の履行も厳しく求められています。

こうした中で、経営トップは、事業活動を適切に展開するとともに、従業員が健康で、安心して働き、その能力を充分に發揮できるようにするため、率先して安全衛生活動を推進することが大切になつてきています。

このようなことから、一流講師陣により安全衛生をめぐる幅広い最新の情報をお伝えし、経営トップに多角的な理解を深めてもらうことを目的として、藤木幸夫会長をはじめそれぞれの分野

事業においては、世界の港、特に東アジアの港との競争が激化しており、加えて、サービス経済化やIT化が進展するなど経済社会情勢が大きく変化する中で、大変厳しい経営環境に直面しております。

当セミナーは、（一社）日本港運協会の後援を得て、毎年開催しているもので、今回は34回目となり、全国の会員事業場から210名余の経営首脳の方々が参加されました。港湾貨物運送

（木） 東京都港区の「ペイサイドホテル アジュール竹芝」において、「経営トップ・セミナー」を開催しました。

当セミナーは、（一社）日本港運協会の後援を得て、毎年開催しているもので、今回は34回目となり、全国の会員事業場から210名余の経営首脳の方々が参加されました。港湾貨物運送

（木） 東京都港区の「ペイサイドホテル アジュール竹芝」において、「経営トップ・セミナー」を開催しました。（会長の開講挨拶及び講演要旨を4頁～7頁に掲載しています。）

## 「経営トップ・セミナー次第」

開講挨拶及び講演1

「港湾における

今後の労働災害防止対策」

港湾労災防止協会

会長 藤木 幸夫

講演2

「大転換期を迎える日本経済

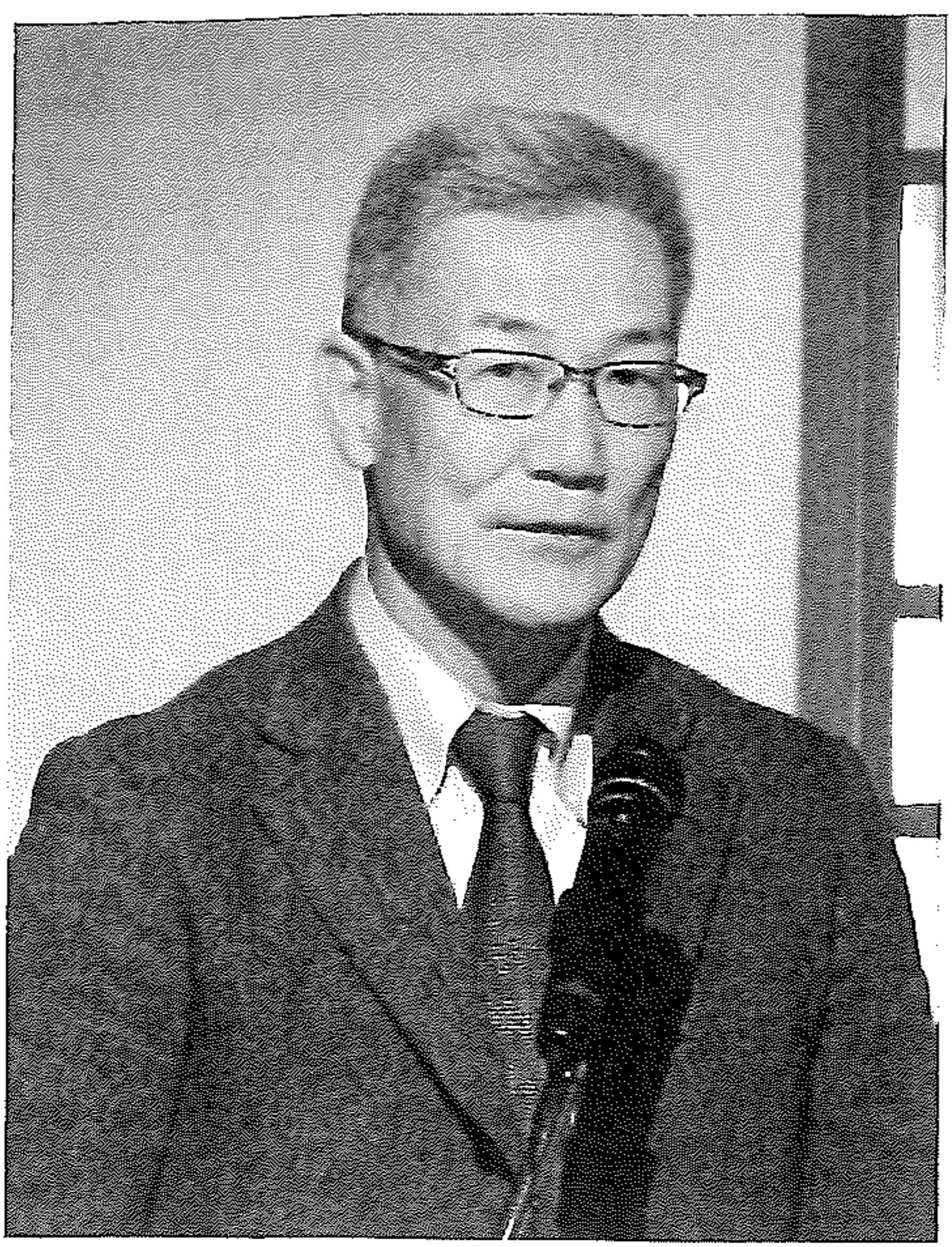
～結果を出すためには何が必要か～」

経済ジャーナリスト 須田 慎一郎



「経営者にとっての安全学の視点から  
の労働災害防止の課題について」

明治大学名誉教授 向殿 政男



講演4

「ランニングの効用

～心身がどう変化するのか～

鹿島アントラーズFC

地域連携チームマネージャー

アントラーズホームタウンDMO専務理事

吉田 誠一



講演中の藤木幸夫会長

## 経営トップ・セミナー開講挨拶 港湾における今後の 労働災害防止対策（講演要旨） 港湾労災防止協会 会長 藤木 幸夫

しました。おかげさまで全部の総支部、支部で全会員お集りいただいたということになりました。これも突然のことでしたのが協力いただいた訳ありがとうございました。

一港一社の体質を持っている業界は港だけだと思っています。色々な人間

国大会をやらせていただき、1300人を超える仲間が、日本の津々浦々の港から参加していただきました。これもここにお集まりの皆さんのご厚意で大きな大会になつたわけです。本当にありがとうございました。今年は広島で開かせていただきました。どうぞまたその節もよろしくお願ひいたします。

また、今日は皆さんにセミナー参加の会費を支払つていただきましたが、全国大会の参加費とこのトップ・セミナーの会費が本部の健全財政に役立つております。お役所同士のことを申し上げれば、省庁が違うと丸きり緊張感といいますか、それに対する責任感の表し方が違つてきます。私は港というのは、地方自治体のことなのだからライニシアチブをとるのは横浜市港湾局長なので、コロナウイルスの問題が始ま前から、今中国でおかしな動きが出ているよど、そこですぐ港運関係が集まりました。

港湾における今後の労働災害防止対策については、トップセミナーの資料をご覧いただきたいと思いますが、昨

年は春早々事故があつて皆さん方に臨んでおりました。この際、厚くお礼申上げます。さて昨年は、名古屋で全

時の反省を含めた総決起大会をお願いしました。おかげさまで全部の総支部、支部で全会員お集りいただいたということになりました。これも突然のことでしたのが協力いただいた訳ありがとうございました。

港というのは皆さん、日本国全体、

数で4000あります。そのうち漁港

とコンテナターミナルをもつっていない港とあります。アンバランスな姿であり、住民の皆さんとの色々な動きに合わせてしっかりした港をつくるなければいけません。

自分の住んでいる町、自分の住んでいる地域、そこにおける港湾の存在価値。これからも皆さんアピールしていただいて内航だろうが外航だろうが新しい日本の経済を背景に港の街を作つていきたいものだと思っています。

災害はパンフレットにあるように墜落、挟まれ災害が多く、最近また小さな今ではなかつたような災害があります。大事なのはやはり本人だと思います。大事なのはやっぱり本人だと思います。自分が守る意識が大前提です。そして、回りの人が自分の体と自分の心がつてそれが大事なのだと示してあげる。小さな前提も一つ崩れると全体が崩れます。これは昔からそうなっています。小さな前提を港で言えば、本人が本人を大事にする、それが女房子供を大事にすることにつながります。いろいろ講習その他本部がお手伝いして地道にやっているわけですが、やはりその前



提というのは本人の自覚です。

今年はオリンピックがありますが、もう地球は病気をしていますから異常に雨が多くなっています。異常に温度が高くなっています。すべて気象庁の発表では、こんなのは初めてだ。これは地球が病気なのです。今から800年前に中国人の人たちは半分死んでいます。学校で教えないだけです。世界では現在200万台のロボットが稼働しております。今後も増えていきますし、さ

らに、AIでびっくりするような人型ロボットができてきます。様子はうんとかわってきます。今からそういうようなことも話題にしていただきたい。皆さん我々は自然を無視して7800億円で招致したオリンピックがなんと3兆円をこし、もう4兆円をこします。どうしてこんな費用を使うのでしょうか。

今、横浜に入っているダイヤモンドプリンセス、これもかわいそうなものです。色々協力して、私は、FM横浜で新聞を無料で届けたり、あるいは放送で部屋の中でできる体操を教えたりするなどしています。今、横浜中華街

は、がらがらであり、東京の銀座、築地で食事をしたのですが料理屋ががらがらで、ものを売っているところも店を閉めている。銀座に客がないそうです。

市は、関東を除くと少なく、あとはみな港をもっています。北海道、沖縄に至つては全体が港です。この港湾の業界というのは、本当に日本の生命線を握っているといつて間違ひありません。コンテナターミナルを持つている港

